

市議会だより 第148号



天瀬町桜竹福島地区の中川さん御家族

もくじ

- 第4回定例会で審議した議案とその結果など … P 2～P 4
- 市政に反映、皆さんの声（一般質問） … P 5～P 12
- 各委員会の議案等の審査結果 … P 12・P 13
- 議会報告・意見交換会を開催しました … P 14～P 16
- 議員相互間の自由討議を実施 … P 16・P 17
- インタビュー、編集後記 … P 18



令和5年 第4回(12月)定例会

11/29~12/20 22日間

本定例会では、条例の一部改正、令和5年度一般会計補正予算など、12件の議案について審議を行い、次のとおり決定しました。

■本定例会で審議された議案とその結果

議案番号	件名	議決結果
議案第60号	日田市一般職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決(全会一致)
議案第61号	日田市特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	原案可決(多数)
議案第62号	日田市議会議員の議員報酬並びに費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	//
議案第63号	日田市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決(全会一致)
議案第64号	工事請負契約の変更契約の締結について	//
議案第65号	字の区域の変更について	//
議案第66号	日田市高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定の変更について	//
議案第67号	日田市高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について	//
議案第68号	日田市民文化会館の指定管理者の指定について	//
議案第69号	令和5年度日田市一般会計補正予算(第5号)	原案可決(多数)
議案第70号	令和5年度日田市一般会計補正予算(第6号)	原案可決(全会一致)
議員提出議案第6号	議員派遣の件について	//

令和5年 第4回定例会 賛否の状況

議案番号	議決結果	賛否		会派名等、議員名及び賛否の別 ※1																				
		賛	反	市政クラブ				市民クラブ				新世ひた				日本共産党	公明党	無所属						
				財津	岩見	梅原	原田	宮崎	中原	崎尾	溝口	井上	梶原	中島	今井	石橋	坂本	居川	三苫	佐藤	大谷	日隈	松野	坂本
議案第61号(修正案)	否決	1	19	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	欠	●	●	●
議案第61号	可決	19	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	可決	18	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号(修正案)	否決	1	19	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	欠	●	●	●
議案第69号	可決	18	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1 「○」は賛成、「●」は反対(不賛成)を表します。

※2 議長(三苫誠)は、可否同数のとき又は特別多数議決のとき以外は表決に加わりません。

・修正案の内容

議案第61号：特別職の職員の期末手当の年間支給月数をこれまでどおりとする案

議案第69号：一般会計補正予算(第5号)のうち、特別職の国家公務員の改定に準じて増額補正される議員人件費の議員手当額及び特別職人件費の職員手当額を削除する案



賛否の主な討論の内容

■議案第62号（反対討論）

国民の暮らしの現状は物価高騰に歯止めがかからず、飲食料品においては、昨年では約2万5,700品目が値上がりしており、今年には3万2,395品目が値上がりしているという報道があった。一方、賃金は物価高騰に追い付かず、実質賃金は目減りとなっており、消費税の減税など、国民の暮らしを守る抜本的な対策が求められている。

地域の経済状況は、一部の回復の兆しがあるといったものの、円安は依然として大きな影響を与え続け、資材、燃油等の価格は下がっていない。年金も物価高騰に連動していない。社会保障分野では、後期高齢者の医療費は、2割負担が導入されたことで、自己負担額が増となっており、高い介護保険料や社会保険、国保税が市民生活を圧迫していることから、このような市民生活の状況に配慮すべきである。

また、いくつかの議会では、議員の期末手当を据え置いた議会があることや、議員報酬は、期末手当も含めて、本来であれば、報酬審議会で議論されるべきではないかと考えることから反対するもの。

■議案第62号、議案第69号（反対討論）

先般の国会で提出された「総理大臣や閣僚を含む特別職の国家公務員の給与を引き上げる改正給与法」に対しては、「国民の実質賃金がプラスになる状況までは控えるべきである。」や「物価が上がる中で厳しい状況に置かれている人が多く、今の経済や国民生活の状況を考慮すると、我々がそれを受け取るということの良いのか。」といった声があった。

物価高騰などによる家計への負担や、現在の社会情勢を考えると、まずは市民全体の福祉を優先すべきであり、議員の期末手当の引き上げはすべきではないと考えることから反対するもの。

また、議案第69号についても、この議案に関連することから反対するもの。

令和5年第2回臨時会の結果

去る令和5年11月6日に開かれまして臨時会の結果をお知らせします。

■臨時会で審議された議案とその結果

議案番号	件名	議決結果
認定第1号	令和4年度日田市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(多数)
認定第2号	令和4年度日田市公営企業会計決算の認定について	認定(全会一致)



令和4年度 決算の概要

昨年9月定例会で付託された令和4年度一般会計決算認定のほか、特別会計、公営企業会計について、10月に決算審査特別委員会で審査をしました。

11月6日に臨時会を開催し、決算審査特別委員長から審査内容の報告の後、採決を行った結果、「認定」となりましたので、その概要をお知らせします。

使われたお金（一般会計歳出決算額）
398億5,625万3千円

特別会計歳出決算額 168億1,259万円（6会計分）

●普通会計における財政分析の状況

区 分	令和3年度 指数等	令和4年度	
		指数等	順位
財政力指数	0.409	0.411	6位
経常収支比率	88.5%	93.6%	5位
実質公債費比率	4.1%	4.9%	4位

※普通会計とは、一般会計と特別会計の一部を合わせたものです。

※順位は、県下14市中です。

財政力指数：地方税など自治体の標準的な収入で合理的に行政運営を行った場合に、どこまで必要経費が賄えるかを測定する指標です。この指標は数値が高いほど財源に余裕があるとされています。

経常収支比率：毎年決まって入ってくるお金（地方税、普通交付税など）が、毎年決まって出ていくお金（人件費、借金の返済など）に、どの程度充てられるかを示す指標です。この比率が低いほど財政構造が弾力性に富んでいるとされています。

実質公債費比率：借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、財政規模に対する割合で表したものです。この比率が18%以上となる地方自治体は、地方債を発行するときに国の許可が必要になります。

●審査日程

10/5：全体会 ・総括質疑	10/5～17：分科会 ・審査	10/24：全体会 ・分科会長報告 ・質疑 ・討論 ・委員会としての採決
-------------------	--------------------	--

●水道・下水道事業（公営企業会計）

水道事業	執 行 額
収益的収入	13億4,713万8千円
収益的支出	12億4,994万4千円
資本的収入	1億9,642万1千円
資本的支出	5億6,645万5千円

下水道事業	執 行 額
収益的収入	19億8,595万5千円
収益的支出	19億6,146万7千円
資本的収入	8億9,500万2千円
資本的支出	13億 446万5千円

※決算額等の詳細は、広報ひた令和5年12月1日号（8～11ページ）に掲載されていますので、そちらを参照してください。

●審査結果を早期に報告するため、臨時議会を開催しました

12月以降は市における新年度予算の編成作業が本格化する時期です。新年度予算編成において決算審査の結果を反映しやすくすることを目的に、令和3年度から早期に審査結果を報告するための臨時議会を、審査終了直後に開催し、決算審査特別委員会委員長から審査結果の報告を行いました。

●決算審査特別委員会委員長報告の概要

児童一人当たり一律10万円の支給を行った、子育て世帯への臨時特別支援事業費や、令和2年7月豪雨災害の復旧事業費などの減により、歳入歳出いずれも前年度と比較して大幅に減額した決算となっています。このような中、まちづくりや災害からの復興を行う事業、子育て、教育支援や商工、農林業支援など、市が行う事業がより効果的な施策となるよう、22項目について付言・要望し認定としました。また、水道・下水道事業においては、民間活力の活用の導入が有効かどうか検討を進める計画としていることから、公共サービスの質を確保し、充実・向上を目的とした検討を行うことを要望し、同様に認定しました。



市政に反映 皆さんの声



令和5年第4回定例会では、12月6、7、8日の3日間にわたり一般質問が行われ、14人の議員が諸問題について質問しました。それぞれの質問の中から、その要旨をお知らせします。

質問 各地域の住民自治組織に対する予算の約8割は人件費に充てられており、占める割合が大きいのと言える。国の集落支援員制度を活用して、現在の事務局員を集落支援員として雇う考えはあるのか。

市長 住民自治組織を作る事が優先とは考えていない。地域を維持していくには地域をどうしていきたいか、そのためにどういった組織や担い手が必要なのか、住民の皆様の話し合いが重要であると考える。地域の在り方や組織の必要性などをしっかりと議論して、その結果を踏まえて住民自治組織が必要であれば設立すれば良いと考える。



中津江むらづくり役場

【一般質問】

質問

集落支援員を住民自治組織の事務局員として雇用できないか？

回答

国の制度を活用できないか検討していきたい



新世ひた 居川 太城 議員



議会をご覧になりませんか

会議は、公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。車いす（3台分）での傍聴もできます。

皆さんのお越しをお待ちしています。





質問 農民連食品分析センターが2018年から2020年にかけて学校給食のパンなどを調査したところ、発がん性が疑われている除草剤の主成分であるグリホサートが検出された。対応はどうしているか。

教育次長 学校給食用のパンは大分県学校給食会が食材を選んでいる。パン加工業者が作っている。国の残留農薬基準値を下回っており、安全性は確保されている。

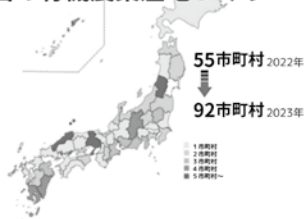
質問 全国の小中学校でオーガニック給食の動きが進んでいる。千葉県いすみ市は学校給食に使用

したい。う米をオーガニックにすることに成功した。市長の思いはどうか。

市長 オーガニック給食にするには、農家の手間、価格、安定供給などの問題がある。どのように解決したのか、ぜひ勉強させてください。

教育委員 会と連携、協力しながら、その方向に進めたい。

全国の有機農業産地づくり



質問 清掃センター立地地域振興交付金を活用した地域振興策の考え方を伺う。

部長 対象自治会に対して地域振興策として交付するもので、幅広く活用していただき、地域振興が図れるように、市としても手伝っていく。

質問 交付金を活用して地域づくりをするための、市と地元住民が一緒に考え運用しやすい仕組みの必要性について、市長の考えを伺う。

市長 立地地域振興を担当する組織の在り方、交付金の仕組み

を見直す。

質問 これから進めていく日田市の教育改革について伺う。

教育長 令和の日本型学校教育という考え方が学習指導要領に加わるのではないかと考えている。しかし、これまで学校で実践してきた成果を土台にして、日田市の実態に応じてどのような取り組みを取り込んでいくのかを、しっかりと考えていく。



【一般質問】

質問

学校給食にオーガニック食材を使っているだろうか？

回答

市教委と協力して、その方向に進めたい



日本共産党 日隈 知重 議員



【一般質問】

質問

日田市清掃センター立地地域振興策について

回答

立地地域振興を担当する組織の在り方と、交付金の仕組みを見直す



市民クラブ 中島 章二 議員





質問 これまでの市の対策と現在の認識を確認する。

部長 実績のある専門機関に委託した。遮蔽ネット等を設置したが解決には至っていない。

質問 他市は物理的な壁の上にネットを設置しているが、市は全面張りとしているのはなぜか。

部長 畜産経営者との協議の結果、全面張りをするので拡散効果による臭気の低減を狙うという提案があり、実施した。

質問 公害に該当すると判断しているが、日田市環境保全条例は機能しているのか。

部長 機能している。

質問 公害防止協定の協議の進捗状況はどうなっているか。

部長 締結には至っていない。

質問 解決に向けて丁寧に取り組むと約束していただけるか。

市長 心苦しく思っており、解決はしていないと認識している。業者に住民の環境に影響を与えている事を認識してもらい対策の働きかけを行っていく。



【一般質問】

質問

山田原畜産施設の臭気問題の取組の状況と今後について

回答

業者に認識してもらい対策を働きかけ必要に応じ支援する



市政クラブ 崎尾 亮介 議員



【一般質問】

質問

防火水槽の整備について、どのような整備計画なのか？

回答

自然水利や人工水利が乏しい地域を優先し、計画的に整備したい



公明党 松野 勝美 議員



質問 消防団員数は、どのようになっているのか。

部長 消防団員数は減少傾向となっており、令和5年4月1日現在では、日田市消防団条例上の定数1218人に対し、850人が在籍し、368人の団員が不足している状況。

質問 各地域の防火水槽の整備について、どのような整備計画となっているのか伺う。

部長 令和4年度までに51基の防火水槽を整備した。自治会からの設置要望があったら、周辺水利の状況を調査し、自然水利

や人工水利が乏しい地域を優先し、計画的に整備を行っていきたいと考えている。

質問 障がいや病気などの理由から、自分で投票することが難しい人などに役立つ投票支援カードの導入が検討できないか。

選管局長 次回選挙での導入に向けた準備に取り組みたい。





【一般質問】

質問

重要文化的景観 誤指導問題の解決を！

回答

年度内の解決に向けて進める



無所属 高倉 貴子 議員



質問 平成20年に重要文化的景観に小鹿田焼の里が選定されて15年、地元の同意が前提だったが、近年では選定解除の声さえ聞こえる。市教委の誤指導は昨年謝罪を余儀なくされたが、その後地元との関係の立て直しや計画の見直しは怎么样了っているか。

回答 その後地元への普及啓発等をおろそかにした。市長はどう捉えているか。
市長 地元への説明責任や寄り添いを果たしてこなかったと認識している。
質問 文化財の維持活用は当事者だけの責任ではない。市全体で担うため改訂文化財保護法による保存活用地域計画策定も急ぐべきではないか。
市長 文化財担当に限らず市全体で取り組んでいく。



池ノ鶴集落の被害

【一般質問】

質問

ひたはしり号をもっと多くの地域で走らせることはできないか？

回答

利用者の声、ニーズ調査、要望が多ければ検討していきたい



市民クラブ 今井 美保 議員



質問 もっと多くの地域で利用できるようにしてほしいという要望がたくさんの方から出されているがどう考えるか。
部長 地域のほうから延伸の希望や要望があった場合、利用者数、運行本数、道路幅、運行車両、運転手の確保等総合的に検証して判断をしている。効果的なルートの運行と市街地を移動しやすく使い勝手のよいルートを考えながら整えていきたいと考えている。

回答 利用者の声、ニーズ調査、要望が多ければ検討していきたい
部長 ルートの見直しを行う場合は、利用者の声やニーズ調査により、日田バスターミナルを起点終点としないルートも要望が多ければ検討していきたい。





【一般質問】

質問

筑後川上流域、福岡都市圏との
関係性を見直すべきでは？

回答

三隈川は重要な位置にあること
から、さらに交流を深めたい



市政クラブ 宮崎 陽治 議員



質問 令和3年度に夜明ダムの水利権更新があったが、日田市としてどのように関わったのか。

部長 市の意見を大分県宛てに出している。

質問 今後、水利権の更新を控えているダム、発電所はあるか。

部長 石井発電所が令和6年3月、女子畑・三芳発電所が令和8年9月、松原・下笠・柳又発電所が令和11年3月である。

質問 大山川堰からの放流量が毎秒1トン増加されてもなお隈裏の透視度は1.1mである。三隈川は清流と言えるのか。

市長 過去、清流と言われた姿には到底戻っていない。

質問 松原ダムの選択取水装置は洪水対策に備えた計画放水時に機能しているのか。

部長 市としては回答しかねる。

質問 松原ダムの放流水について市独自の水質調査を国交省に協力依頼できないのか。

市長 調査検討を行い、国交省の協力が必要な場合は改めてお願いしたい。



松原ダム

【一般質問】

質問

被災農地、農業用施設の復旧費
について、地元負担の軽減を！

回答

農家等の負担金は見直しの時期
に来ていると考える



日本共産党 大谷 敏彰 議員



質問 農業関係者から、農地、農業用施設の災害復旧費の地元負担が大きく、軽減を求める声も多い。今回の災害から負担軽減の立場で検証しているか何う。

部長 頻発する災害の状況、高齢化、他市の状況を踏まえて検証しているが、今回の災害からの負担軽減は難しい。

質問 公営住宅では単身の入居希望者が増加している。対策は考えているか何う。

部長 建て替えや大規模改修時には、単身者向けの戸数を増やしている。長期間申し込みがな

く空いている住宅は、今後単身者の入居を可能にしていく。

質問 国も公営住宅の入居の際の保証人は求めている。市もなくしたらどうか。

部長 県内各市町村の動向も注視しながら、必要に応じて協議を行い対応する。

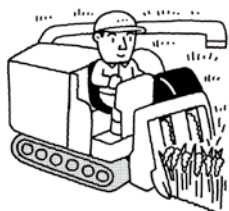
質問 団地内の住民の高齢化に伴い雑草の除去も困難になってい

るので、市で対応すべきだ。

雑草の除去も困難になってい

るので、市で対応すべきだ。

るので、市で対応すべきだ。





質問 今後のデジタル化の取組について伺う。

市長 私が公約した取組についても、その実現のためには、デジタル技術の活用が極めて重要である。また、デジタル化による仕事の効率化を図ることは、職員が現場に出向き、市民に寄り添った支援をするための時間の確保にもつながるものと考えている。

質問 ウェルビーイングの向上を目指す取組が重要ではないか。

部長 今後、市が実施する事業の性質によっては、この指標の

活用についても考えていきたい。

質問 空き家等対策の推進に関する特別措置法の一部が改正されたが、今後の市の取組について伺う。

部長 住宅用地特例の解除の措置は、所有者等の補修等の改善につながる対策の一つなので、国の基本方針などを参考に取組を考えていきたい。



質問 再犯防止推進計画の取組状況を伺う。

部長 庁内の推進体制づくりが十分進まず、現在まで策定に至っていない。

質問 再犯防止推進計画は策定されていない状況だが、今後、策定の考えはないか伺う。

部長 現在、令和6年度に策定予定の地域福祉計画の中で盛り込むように関係部署と協議を進める。

質問 策定メンバーや運営方法をどのように考えているか伺う。

部長 地域福祉計画の中に施策

を盛り込む方向性になったら協議する。

質問 再犯防止推進計画の市長の考えを伺う。

市長 計画策定に向けてしっかりと議論を重ね、策定後の推進体制も議論を進める。

質問 その他、企業版ふるさと納税、「所得税基本通達の制定について」の一部改正に伴う兼業農家への影響について質問した。



【一般質問】

質問

デジタル化の取組により新たな変革を目指すべきではないか？

回答

デジタル化への特設チームなどの設置も検討したい



公明党 坂本 茂 議員



【一般質問】

質問

日田市での再犯防止推進計画の策定の考えはないか？

回答

地域福祉計画の中で施策を盛り込むように関係部署と協議を進める



市政クラブ 原田 裕文 議員





質問 スポーツ施設の芝環境について、市民や競技団体から芝環境の整備を求める声があるが、どのように考えているのか。

部長 市の施設として、鯛生スポーツセンター、陸上競技場がある。鯛生スポーツセンターは宿泊を伴う利用を優先、また陸上競技場は第2種公認陸上競技場として認定を受けているためある程度の制限がかかっている。

質問 施設として鯛生スポーツセンターや萩尾公園について、宿泊利用や芝の養生のため、月に一度など、使用制限がかかっ

ているところがあるが、市の考えを伺う。

部長 今後、指定管理者と協議していきたくと考えている。

質問 市民のため、人工芝の新設、張替を検討できないか。

市長 状況はよくわかったので、念頭に置いていく。



質問 上津江町と中津江村は熊本県に隣接しているが、TSMCについて隣接市町村との連携は考えていないのか伺う。

市長 今までは、東京や福岡の財界などを中心に伺っていたが、これから熊本県や自治体あるいは経済界に伺い、連携をしていきたいと考えている。

質問 大津町や益城町、菊陽町など近隣の自治体には半導体関連の企業が多く進出もしくは進出を予定している。上・中津江の市営住宅の空き状況は、上津江で空きが14戸、中津江10戸と

少なく、熊本県内に通う人が多くなれば住宅数が足りないが、市長としてこの数についてどう考えるか伺う。

市長 住宅については、空家等の活用も含めて考えたい。空き家というのは、市営住宅の空き家という意味ではなくて、一般的な空き家の活用も含めて考えていきたい。

質問 この他、ネーミングライツ、市営駐車場について質問した。



【一般質問】

質問

スポーツ施設において、十分な芝環境が必要ではないか？

回答

市としてしっかりと捉え、考えていきたい



市政クラブ 中原 晴剛 議員



【一般質問】

質問

TSMCが日田市に与える影響をどう考えているか？

回答

関連企業の誘致に取り組み、移住や通勤対策等について考えていく



市政クラブ 梅原 竜也 議員





【一般質問】

質問

道路補修事業について、多数要望があることから、早急な対応を！

回答

各振興局の状況を把握し、遅れが無いように配慮する



新世ひた 佐藤 孝彰 議員



質問 市道は全長1182キロメートルもあり、市道維持管理に関する要望が多数出ている。道路維持パトロールについては、もっと強化を図るため、増員する必要があるのではないか。
部長 現在は、2名1班とし、3班集体制の6名で市内全域をパトロールしており、草刈の時期には別に3名を任用して対応している。
質問 地元への草刈報奨金については、年2回の支給で、平米単価は県内最低レベルの8円であり、土地の傾斜率は他市と比



較しても、かなり大きくなってきている。このような現状から、近年の物価高騰の影響も踏まえて、草刈り単価の見直しは考えられないか。
部長 今年度から支払回数数を2回分に増やしたところなので、現時点では見直しは考えていない。

報告

各委員会の議案等の審査結果

●総務環境委員会●

令和5年度日田市一般会計補正予算16億959万9千円を可決。

今回の補正予算の歳入に関しては、災害復旧事業の国庫支出金や県支出金の増額などを行うものです。

●上津江地区定住交流促進施設管理費（184万2千円）

この事業は、新年度入居希望者に対応するための修繕料を増額するものです。上津江地区の活性化及び地域発展を目的とした施設で、現在24世帯38名の方が入居され、地区の活性化などに寄与しています。今後同施設への入居を希望する方がいることから、計画的に維持管理に努めるよう要望しました。

●債務負担行為補正（新清掃センター整備及び運営事業／限

度額201億1738万3千円）

今後、施設建設からセンターの運営稼働が長期にわたる事業となることから、事業の進捗状況や様々な情報を、議会をはじめ、近隣住民に対して常に丁寧な説明を行うよう要望しました。また、建設費や運営費の予算計上において十分に精査し提案するよう重ねて要望しました。

●住民税非課税世帯等に対する物価高騰重点支援給付金給付事業（5億4567万5千円）
物価高騰による負担感が大きい住民税非課税世帯に対して7万円の給付金を支給するため国庫支出金の増額を行うものであり、原案のとおり可決しました。





●教育福祉委員会●

待機児童対策として新たな
放課後児童クラブを開設

●放課後児童健全育成事業

この事業は、待機児童対策として、新たな放課後児童クラブを開設するための、環境整備費用の補正を行うものです。

今回の計画では、通学している学校から当該クラブまでを、徒歩またはタクシーで移動する必要があることから、移動途中における児童の安全確保を図ることを要望しました。

●学校給食調理場管理費

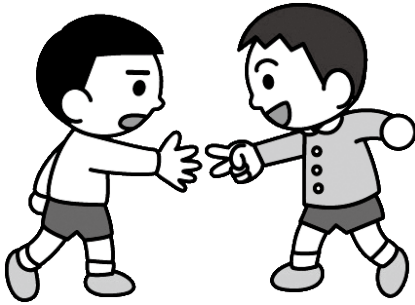
この事業は、学校給食調理場の夏休み期間中の定期点検や、保健所の立入検査により指摘のあった箇所や、経年劣化による厨房機器や施設設備の不具合報告に基づき、異物混入や事故防止のため、修繕料の増額補正をするものです。安心安全な学校給食提供のため、日頃の点検

やトラブルが起きた時の対策を徹底することを要望しました。

●住民税非課税世帯等に対する
物価高騰重点支援給付金給付
事業

この事業は、住民税非課税世帯に対して、物価高騰による負担増を踏まえ、一世帯あたり7万円を給付するものです。

実施に当たっては、今回から新たに導入したオンライン申請も含めて、ダブルチェック機能等を用いて、対象者の適切な把握をし、給付漏れのないように要望しました。



●産業建設委員会●

農家に対する負担軽減を
求める！

●災害防除事業

この事業は、落石による交通事故及び土砂崩壊による通行止めが懸念される箇所において、歩行者の生命や車両の安全で円滑な通行を守るため未然に落石等の災害を防ぐ対策工事を実施するものです。

審査の中では、市道原線の事業について、地元要望から2年が経過し本年度工事を実施するよう進めていたが、工事予定地の売却による所有権移転が判明したため、用地に関して再協議が必要となり、減額補正となったとの説明がありました。

事前の情報収集に不備があり、用地取得の協議に関して、今後余分な日数や費用が発生する懸念があることを指摘し、今後は工事予定地の地権者の状況把握

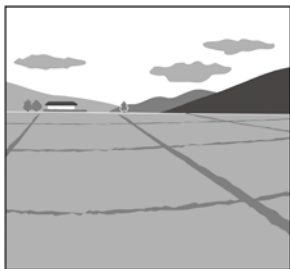
はもとより、用地協議の際に地権者と合意を得た場合は、合意書等の文書を交わすなど再発防止に努めるよう要望しました。

●農地及び農業用施設災害復旧
事業（梅雨前線大雨分）

●林地及び農業用施設災害復旧
事業（梅雨前線大雨分）

これらの事業は、梅雨前線豪雨により被災した農地や林地及び農業用施設の復旧を行うものです。

事業実施に当たっては、国の災害査定に向け調査・査定の体制強化や整備を図り、災害査定が終了とした箇所から速やかに工事発注を行い、1日も早い復旧に取り組み、農家に対しては負担軽減を図るよう要望しました。





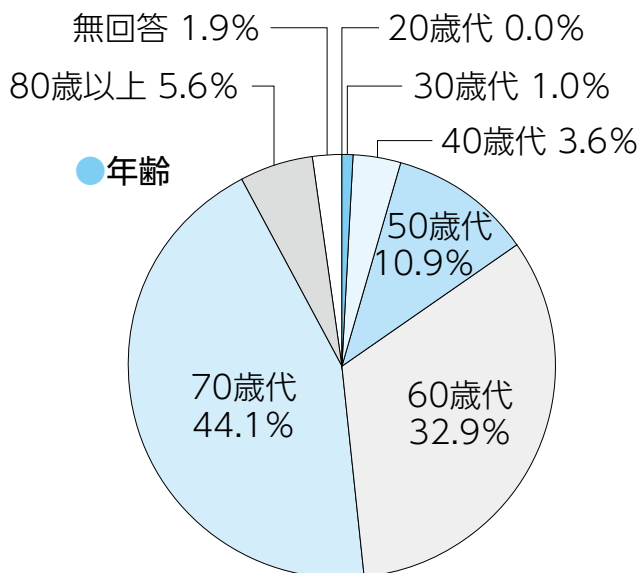
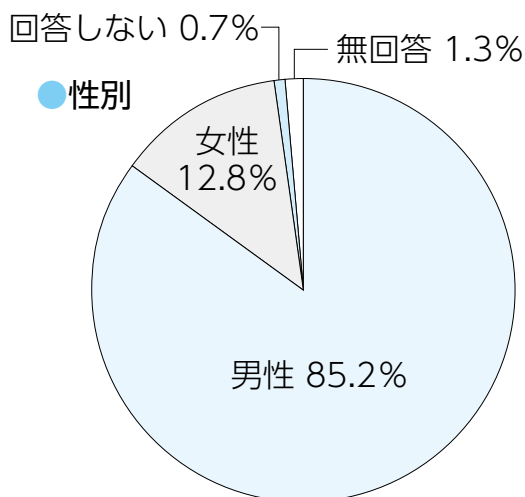
議会報告・意見交換会を開催しました

日田市議会では昨年11月8日から11月22日にかけて、市内20会場で議会報告・意見交換会を開催しました。市民の皆さんとの意見交換を重視するとともに、地域にとって身近な問題や要望等をそれぞれの会場で取り上げるため、地区の公民館にお伺いしました。

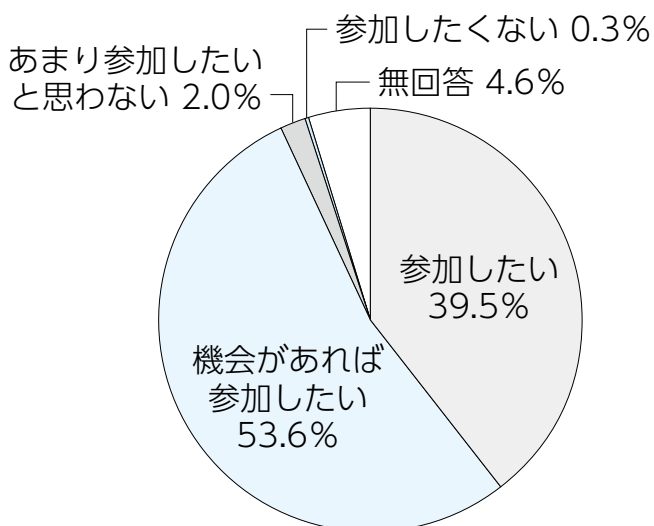
なお、議会報告・意見交換会でのアンケート結果は以下のとおりです。いただいた貴重なご意見を踏まえ、これからの議会活動の参考としていきます。

アンケート集計結果（報告会参加人数 333人 アンケート回収数 304件 回収率 91.92%）
（参考【直近】：令和元年度 参加人数 413人 アンケート回収数 357件 回収率 86.44%）

問1 あなたの性別、年齢をお答えください。



問2 今後もこのような報告会に参加したいと思いますか。



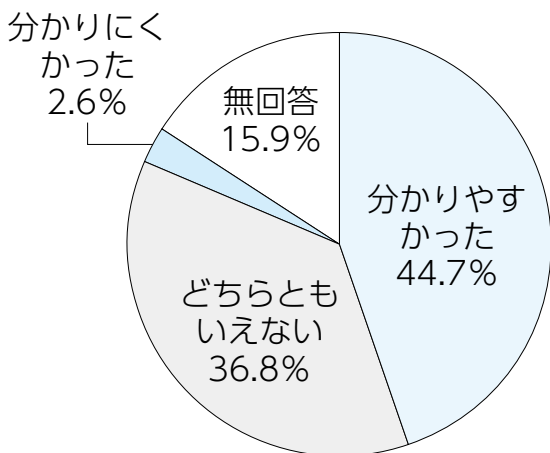
●「報告会の形態」に関する参加者の意見（一部）

- ・若い人30代～50代の参加が欲しい。
- ・回数を増やしたり、もっと意見・対話の場を作って欲しい。
- ・開催される各地区問題に絞ったテーマでの報告・意見交換会にして欲しい。
- ・開催単位は良いと思うが、何のために実施しているのかよく分からない。市の事業への質問であれば、意見交換の意味があるのか不明。ある程度、ポイントを絞って実施したらどうか。
- ・土・日の昼間に実施することはできないか。
- ・参加者が少ないためもう少し住民に呼びかけが必要だと思います。

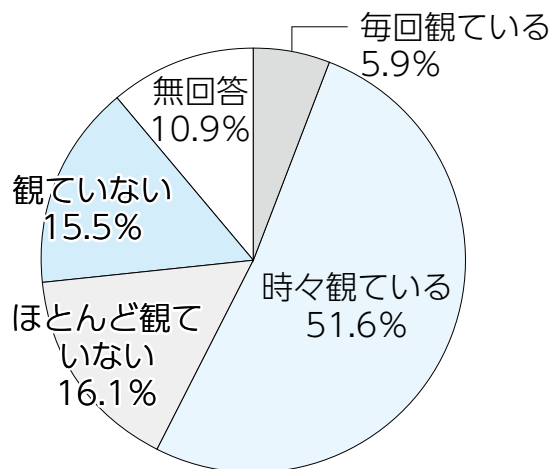


ひた市議会だより

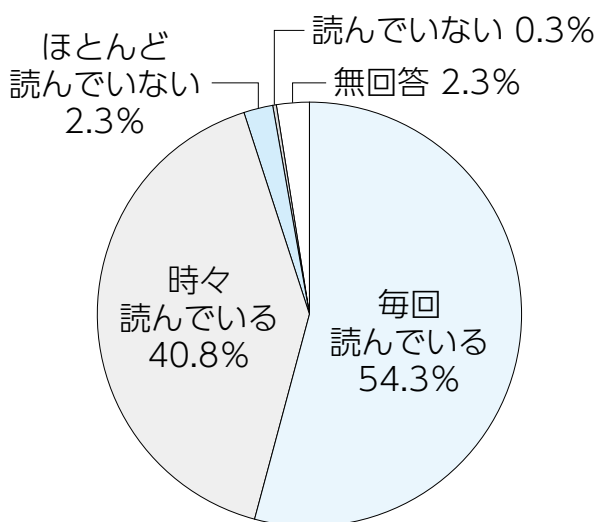
問3 今回の議会報告・意見交換会の内容はいかがでしたか。



問4 ケーブルテレビで放送している市議会一般質問はご覧になりますか。



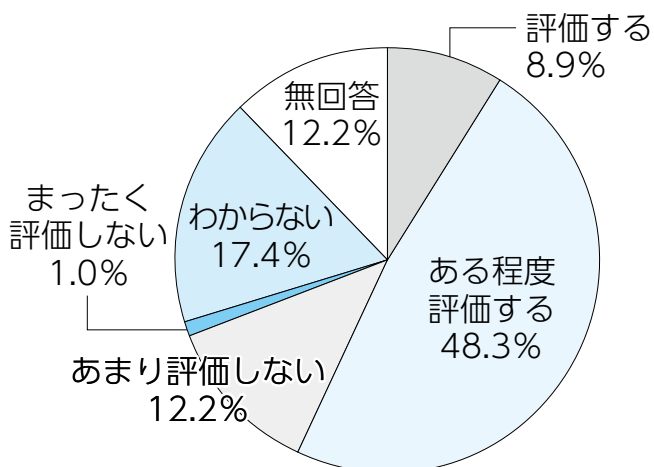
問5 議会が発行している「ひた市議会だより」をご覧になりますか。



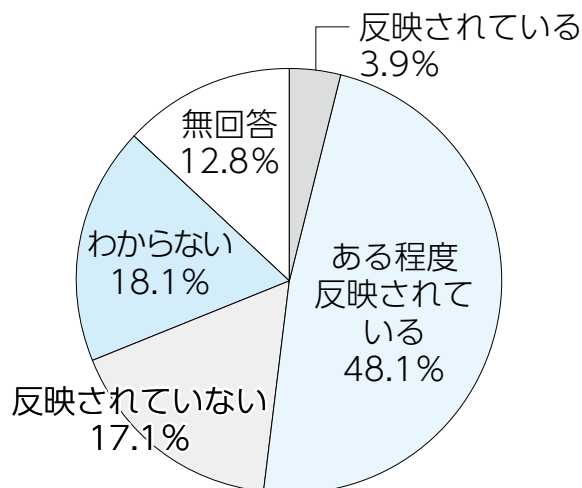
● 議会だよりに関するご意見や、読まない理由 (一部)

- 北海道のニセコが住民と行政がとても上手に繋がっていると感じます。市政だよりなど参考にするとうれしいと思います。
- あまり興味を持っていないから。
- 読んでなくて申し訳ありません。
- 読んでも中々理解できない。
- 議会だよりだけでは議案の内容が不明、わかりやすくお願いします。

問6 現在の市議会をどう思いますか。



問7 市議会に市民の声が反映されていると思いますか。





問8 市議会に対するご意見、ご要望の一部

- 様々な要望を適切に取捨選択され、優先順位を判断されて市政（行政）に反映されるよう切に要望いたします。
- 市政発展のため、尽力頂きたい。持続可能な財政運営を。
- 議会に対して周辺部の声を届ける場を是非とも計画してください。
- 住民の声が市政に届いていないと感じます。郡部の将来をどのように考えているのか。住民と行政がもっと話し合いをすべきだと思います。小さなグループや集団で繋がっているが、横に繋がっておらず、情報交換の場がないと感じます。
- 女性議員が少なすぎる。増やす努力が必要では。
- 将来のビジョン、日田市の新しいまちづくりなど行政側からの提案を審議するだけでなく、議会から提案する仕組み、行動が必要では。
- 住民の声を大切に、議会・市政に反映して欲しい。
- 年に2回程度、意見交換会を実施してほしい。交換会は土・日曜日にしてほしい。
- 市民の立場に寄り添い、早期問題提示・解決に向けた取り組みをお願いしたい。
- 議会は住民の声を市政に反映する役目なのか（議員提案の政策提言も出来るのか）。行政の施策を審議し判断するだけなのか。議員としての役割を分かり易く伝えるべきだと思う。
- 住民の声を積極的に反映して欲しい。
- 議員の皆さん、日田市の問題点・弱点を掘り下げ、行政に対峙して欲しい。

議員相互間の自由討議を実施

この取組は、様々な課題について討議し、今後の議会活動における条例提案や政策提言の能力を高めることを目的とするもので、令和5年12月12日に3つのテーマについて実施しました。

議題1 人口減少対策 日田市における少子化問題について

- 1 そもそも人口減少は問題なのか
- 2 日田市の取組の効果
- 3 私が考える対策・事業

提案者：政策研究会
高倉貴子 議員、宮崎陽治 議員

主な意見

地域に住んでるだけの人口じゃなく、交流人口の増加等も一緒に考える必要がある。

帰ってきた子供たちを、いかに日田に定着できるかというところが必要なのではないか。

労働環境、賃金環境を準備すること、それが出生率の向上につながるのではないかな。

子供施策を含めてそこに対応していく施策をこれから考えていかなければいけない。



何年間は大きな企業誘致が進んでない状況、若い人が働ける、そういう状況をつくっていく必要がある。

数ではなくて人の移動、分布とかバランスとかに問題があるのではないかなと思う。

若い方が安心して結婚、子育てができる環境づくりが必要ではないかな。

奨学金の返済について、日田市が独自に補助するとかしていかないと、日田に戻ってきてくれるのではないかな。



議題2 給食費無償化について

- 1 給食費無償化の目的
- 2 給食費無償化によるメリット・デメリット
- 3 財源について 他

提案者：居川太城 議員

主な意見

義務教育を無償とすることは憲法に書かれている。国の責任でやるべき。国がやらないから、自治体が今やってる。

将来を担う子供たちを育てていく、食育という面でも、すべて親の責任と言ってしまうのはどうなのか。

500以上の自治体が無償化をしていることから、これからは自治体でやってということになると不安だ。

市独自の有機野菜や地元の特産品を出すとか、特性を出す場合には一部自治体の負担でやることもあり得る。



子を養うのは親の責任、我が子に、どういう教育をするかという思いが希薄になってきているのでは。

給食費を無償化するのであれば国でやるべき。現在の給食費については親の責任としてしっかり負担していくべきだ。

給食費に関しては財源を見ながら、しっかり見定めて検討していくべきではないか。

1食、300円弱、子供3人いれば、ひと月1万円、少子化対策でもあり、経済対策でもあり得る。

議題3 東九州新幹線は夢と希望を運ぶのか？

- 1 東九州新幹線調査報告書について
- 2 西九州新幹線に対する反対者の指摘
- 3 西九州新幹線をどこつなぐのか

提案者：日隈知重 議員

主な意見

ローカル線に影響があるが、日田市に駅ができた場合は、経済的発展が見込まれると思う。

新幹線が通ることのメリット、デメリットが出てくると思う、議会として注視していかなければいけない。

新幹線は交通手段。なので、通すことが目的になってはいけないと思う。

観光も含めて地元への効果、その辺りも考えた上で、時間がかかる事業だと思う。



新幹線ができるかどうかは別として、議論は必要。議論に積極的に関わることで得るメリットもあるのではないかと。

豊予海峡を渡るルートが確立すれば、九州にとってかなりの経済的メリットが出てくると思う。

できるできないは別にして、夢を持った市議会であってほしいと思う。

別な振興策を考えたほうがいい。夢のある話だが、現実的に夢のある話だけではいけないと思う。



表紙のみなさん

今回は、天瀬町桜竹の福島地区の中川圭さん御家族にお話を伺いました。

移住2年目の秋に収穫祭を開く

天瀬町桜竹の福島地区で収穫祭が開かれました。遠くは北海道など全国から「ときこえ村」のむらびと、福島地区のおじいちゃん、おばあちゃんが集まりました。過疎の村は、なにかワイワイガヤガヤのにぎわい。「夕方ぶりに子どもの声が戻ってきた」と、福島地区の人たちは喜んでいきます。

「収穫祭を開こう」と声をかけたのが、中川圭さんと妻の法子・エレンさん。圭さんは2019年に法子さんと結婚。2年前に法子さんのご両親が暮らす福島地区で田舎ぐらしを始めます。「福島全体息をしている美しい文化」と、圭さんと法子さんは話します。「ときこえ村」は、福島地区を

第2のふるさとのように帰る村として感じてもらえたら嬉しいと、圭さんが立ち上げました。むらびとと登録しているのは70人で、月1回むらびとのオンライン寄合（よりあい）を開いて情報交換をしています。



収穫祭の様子

有機農業で耕作放棄地が蘇る

圭さんと法子さんは、天瀬町福島地区の休耕地を借りて、米・麦・大豆・そば・野菜などを作り、山守などをしながら昔ながらの百姓の暮らしを目指しています。「9年間眠っていた休耕地に畔を作り、川から水を引くところから始めた」と圭さんは話します。手植え・手刈り・天日干しの昔ながらのやり方で20

aの田んぼが蘇っています。この作業には圭さん夫妻が創っている「コミュニティ」「ときこえ村」のメンバーや福島地区の住民も参加しました。1年を通じた「米作りコース」と「味噌作りコース」も開催し、市内外から多くの人々が集まっています。



収穫祭での餅つき

1haの田んぼを復活させたい

「みんなで生きる力を身に付け、日本の原風景を守りたい」と話す圭さん。今年の目標は、1haの田んぼを借り、次世代の農業の形を作り、本来の意味で地域を活性化させること。「自分たちの手で暮らし・文化を創っていく場づくりを進めたい」と、圭さんと法子さんの夢は広がります。

編集後記

「学校給食をオーガニックにしよう」との質問を準備する中で、中川圭さん法子さん夫妻と知り合い、今回の表紙取材となりました。中川さんの自宅に伺い、自家製のフランスパンをおいしくいただき、お二人の「自分らしく生きたい」という生活スタイルを聞きました。そこには、里山で暮らす福島地区のじいちゃん、ばあちゃんに、生き方を学ぼうとする姿勢が溢れています。

元日に石川県能登半島を震源とする震度7の地震が発生。犠牲になられた方々に心から哀悼の意を表します。被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げます。合わせて、早期の復旧を願います。

(議会報編集委員会委員
日隈 知重)

令和6年能登半島地震で亡くなられた方々に哀悼の意を表しますと共に、被災されました方々からのお見舞い申し上げます。

日田市議会

◎市議会だよりのお尋ねは、市議会事務局(☎028214)へ。市議会だよりは、環境に優しい「植物油インク」を使用しています。

